

1 これまで3年間（H20～22年度）の取組について

1 児童・生徒の状況

(1) 学習事項の定着（学力）について

（成果） 計算力は徐々に身につけており、全体的な基礎学力は向上した。
読書・学習に対して意欲的に取り組むことは定着してきた。

（課題） 文章に対する抵抗感のある児童が多く、読解力に課題がある。
上位と下位の二極化がまだ見られる。特に基本問題の正答率の二極化があり、低位層の基礎学力の向上が課題

(2) 「ゆめ力」「自分力」「つながり力」「学び力」の育成について

（成果） アンケート結果により、全体的にほぼ80%以上の目標を達成できた。

（課題） 自分力・つながり力の中の、自分の意見や考えを伝えることが苦手とする児童がいる。
規範意識が弱く、しっかりと自分の意思がもてない、また表せないことで、周りに流されやすい児童がいる。

2 学校の取組

（成果） 四部会の取り組みを通して、学校の組織的な取り組みは進んだ。中でも授業研究を進める上で授業規律の確立を、校内全体で目指し、取り組んでいる。授業力向上なども成果が得られた。

（課題） 算数科の研究は進んだが、読解力や、自己表現を苦手とする児童の実態から、他教科の研究を進める必要があるため、今年度は国語科の研究を進めたい。また国語科だけでなく、各教科、各学級でも自己表現を大切にしたい授業作りや、集団作りに取り組んでいく。

2 これから3年間（H23～25年度）の取組について

1 3年間の重点課題

重点課題	検証軸	25年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情を高め、お互いが思いを出し合い認め合うことのできる集団づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団作りの取り組みの報告 ・アンケート 	自尊感情を高め、お互いが思いを出し合い認め合うことのできる集団づくりを目指す。
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上は見られたが、文章題への抵抗感が大きく国語の力の指導、学習方法が新たな課題 ・授業規律の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の実態調査 ・府の学力テスト 	アンケート数値の向上 （次年度より具体的なものに）
自主的、主体的に行動できる子どもの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする ・生活アップに進んで取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が進んであいさつする ・生活アップに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初よりよりよい生活を送ろうとしている

2 3年間の取組計画

3年間共通の計画	年度ごとの計画	
自尊感情を高め、お互いが思いを出し合い認め合うことのできる集団づくりを学校全体で取り組む。集団作りの取り組みの検証を全体で進める。 国語の指導、学習方法の研究を進め、児童の国語力の育成につなげる。 学習規律の確立を進める。 あいさつする習慣を身につけさせるよう、指導する。 家庭と連携し、生活アップ週間の実施と検証を行う。 体力向上を目指し、校内研修を重ね、指導の充実につとめる。	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・集団作りの取り組み ・国語科の研究授業 ・学習規律の徹底と検証 ・あいさつ運動 ・生活アップ週間 ・体育校内研修
	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・集団作りの取り組み ・国語科の研究授業 ・学習規律の徹底と検証 ・あいさつ運動 ・生活アップ週間 ・体育校内研修
	平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・集団作りの取り組み ・国語科の研究授業 ・学習規律の徹底と検証 ・あいさつ運動 ・生活アップ週間 ・体育校内研修

3 推進体制

